

日本小児耳鼻咽喉科 第33巻 第2号
Pediatric Otorhinolaryngology Japan Vol. 33, No. 2

第7回 日本小児耳鼻咽喉科学会総会号
学術講演会 プログラム・抄録集

会 期：平成24年6月21日(木)・22日(金)

会 場：岡山コンベンションセンター

〒700-0024 岡山市北区駅元町14番1号

Tel. 086-214-1000 Fax. 086-214-3600

ホームページ：<http://www.mamakari.net/>

会 長：西 崎 和 則

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学

事務局：〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学内

Tel. 086-235-7307 Fax. 086-235-7308

E-mail. ped7th@md.okayama-u.ac.jp

ホームページ：<http://www.ped-7th.umin.jp>

事務局長：福 島 邦 博

日本小児耳鼻咽喉科学会
Japan Society for Pediatric ORL

目 次

会長挨拶	1
交通のご案内	2
会場のご案内	3
日程表	4
参加者へのご案内	6
発表についてのご案内	9
演題プログラム	12
海外招聘講演	33
特別講演	34
手術手技セミナー	35
シンポジウム	38
モーニングセミナー	50
ランチョンセミナー	51
一般演題	55
投稿規定	179
著作権譲渡同意書	181
「小児耳鼻咽喉科」編集委員長からの便り	182
日本小児耳鼻咽喉科役員名簿	183
小児耳鼻咽喉科学会誌バックナンバー申込書	184
日本小児耳鼻咽喉科学会 登録事項変更届	185
第 8 回日本小児耳鼻咽喉科学会のご案内	186

会長挨拶

この度は第7回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会を平成24年6月21日（木）～22日（金）の2日間にわたり岡山コンベンションセンター（岡山市）において担当させていただきこととなりました。本学会理事長をはじめ役員、会員の皆さまには、心より感謝申し上げます。

本学会のテーマは、『未来ある子どもたちのために』とさせていただきます。学会ポスターも、明るい未来に向かって歩いていく子どもたちを耳鼻咽喉科医が見守りたいという思いを込めて制作致しました。

特別講演は高橋裕子先生（奈良女子大学保健管理センター教授）に、「未来ある子どもたちをたばこから守るために」というタイトルでご講演を賜ります。また、海外招聘講演では、台湾より Fei-Peng Lee 先生（Taipei Medical University）をお招きして、「Congenital aural atresia and stenosis associated with cholesteatoma」というタイトルでご講演いただく予定です。さらに、シンポジウムⅠは「小児難治症状への対応」というタイトルで、森島恒雄先生（岡山大学小児医科学教授）、守本倫子先生（国立成育医療研究センター耳鼻咽喉科）に、シンポジウムⅡは「言語発達評価から読み解く難聴児の現状」というタイトルで氷見徹夫先生（札幌医科大学耳鼻咽喉科学教授）と中川尚志先生（福岡大学耳鼻咽喉科学教授）に司会を担当していただきます。その他手術手技セミナー2つ、モーニングセミナー1つ、ランチョンセミナー4つを予定しております。学会テーマにあるように、子どもたちの明るい未来を守るため、今学会を通して小児耳鼻咽喉科医療の発展に少しでも貢献できればと考えております。

前身の日本小児耳鼻咽喉科研究会を2005年に大阪で担当させていただきましたが、今回は岡山で学会として主催できることは望外の喜びです。前研究会での反省を活かして実り多い学会になるように努めてまいりますので、ご助言などありましたらよろしくお願い致します。

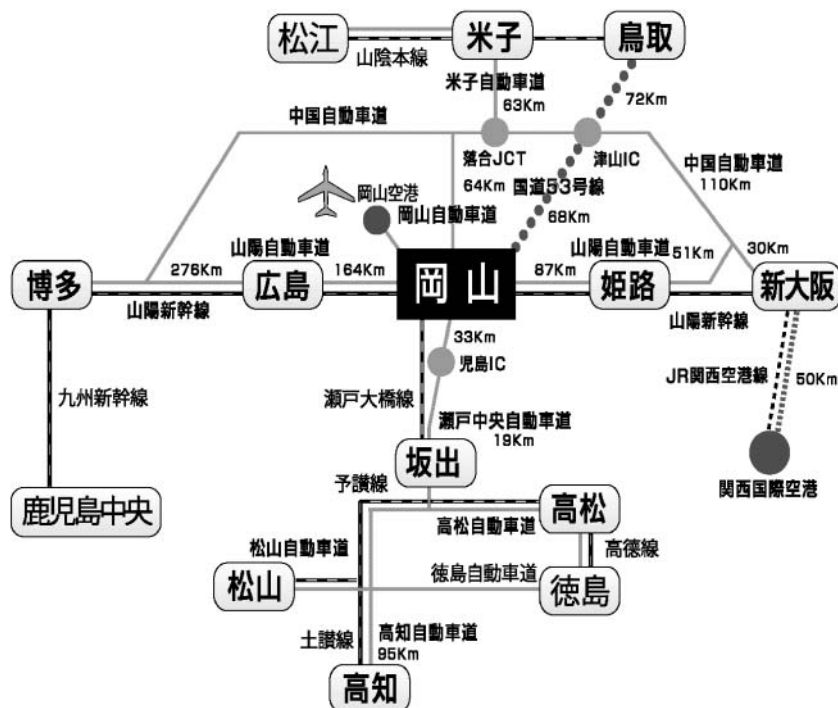
梅雨の季節ではございますが、五月雨（梅雨）にみられる晴れ間という五月晴れ本来の意味に立ち返って、“晴れの国”岡山での観光もお楽しみいただければ幸いです。2011年のB1グランプリで見事優勝に輝いたひるぜん焼そばや同準優勝の津山ホルモンうどんをはじめとするB級グルメや、後樂園、瀬戸内海、倉敷美観地区、伊部地区（備前焼）などの観光スポットが皆さまをお待ちしております。

会場の岡山コンベンションセンターは、岡山駅と直結しており、アクセスの良さは自負しております。ぜひとも岡山の地へお運びくださいますよう、心よりお願い申し上げます。

第7回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会
会長 西崎和則

交通のご案内

アクセス



交通アクセス

◇航空機での所要時間

東京……………約1時間10分
 沖縄……………約2時間10分

◇関西国際空港からの所要時間

空港⇄新大阪……約50分(特急)
 新大阪⇄岡山……約45分(新幹線)

◇大阪国際空港(伊丹空港)からの所要時間

空港⇄新大阪……約25分(空港バス)
 ……約25分(モノレール・電車)
 新大阪⇄岡山……約45分(新幹線)

◇岡山空港からJR岡山駅までの所要時間

タクシー 約25分……5,500円程度
 空港連絡バス 約32分……740円

◇新幹線(のぞみ)での所要時間

東京……………約3時間20分
 名古屋……………約1時間40分
 新大阪……………約45分
 広島……………約40分
 博多……………約1時間50分
 鹿児島中央(みずほ) ……約3時間

会場のご案内

岡山全日空ホテル

〒700-0024

岡山市北区駅元町15-1

TEL : 086-898-1111

FAX : 086-898-1200

理事会々場 1F「曲水」

岡山コンベンションセンター

〒700-0024

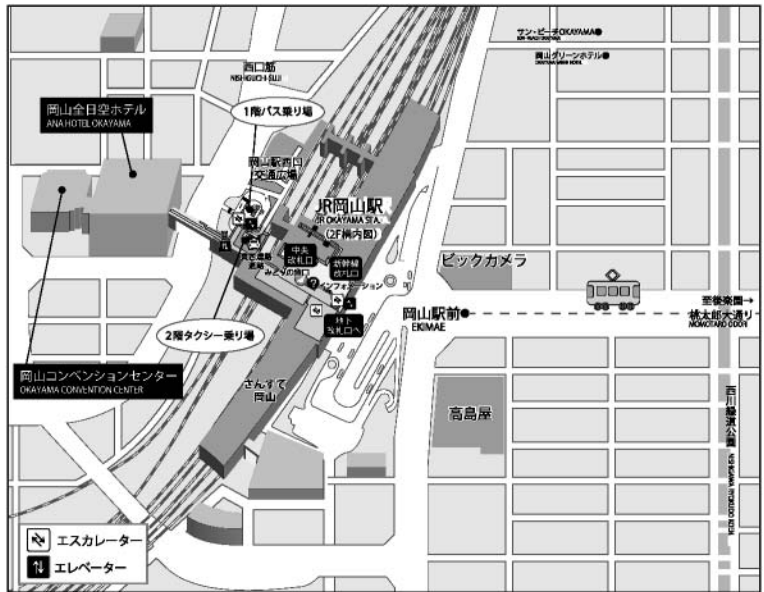
岡山市北区駅元町14-1

TEL : 086-214-1000

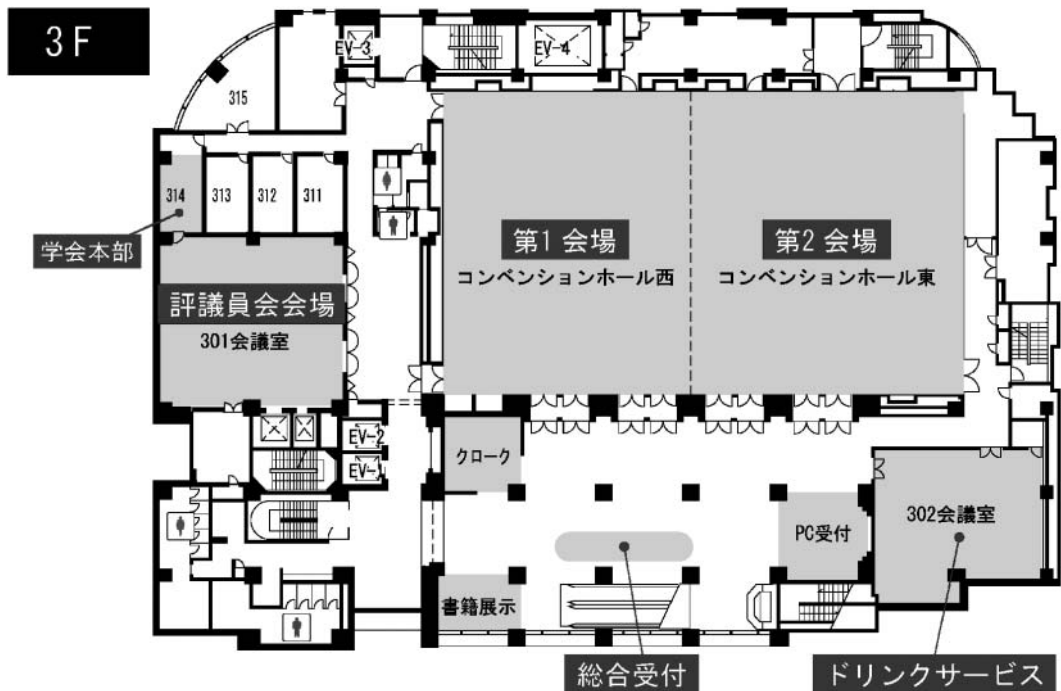
FAX : 086-214-3600

評議員会々場 3F

「301会議室」



岡山コンベンションセンター



日程表

第 1 日目 平成24年 6 月21日(木)

	第 1 会場(コンベンションホール西)	第 2 会場(コンベンションホール東)	その他会場
7:00			
8:00			7:30～ 8:20 理事会 (岡山全日空ホテル1F「曲水」)
9:00			8:30～ 9:20 評議員会 (301会議室)
	開会の辞		
10:00	9:30～10:10 第 1 群 鼻検査・症例 演題：1～4 座長：泰地秀信	9:30～10:10 第 7 群 幼小児難聴 演題：32～35 座長：坂田英明	
11:00	10:10～11:00 第 2 群 副鼻腔 演題：5～9 座長：岡野光博	10:10～11:30 第 8 群 人工内耳 演題：36～43 座長：宇佐美真一 長井今日子	
	11:00～11:50 第 3 群 アレルギー性鼻炎 演題：10～14 座長：川崎一輝	11:30～12:30 第 9 群 急性中耳炎・他 演題：44～49 座長：伊藤真人 林 達哉	
12:00	11:50～12:40 第 4 群 扁桃・アデノイド 演題：15～19 座長：鈴鹿有子		
13:00	12:50～13:50 ランチョンセミナー I 「International trends in Paediatric Cochlear Implantation: What factors contribute to optimal outcomes?」 司会：水見徹夫 演者：John Niparko	12:40～13:40 ランチョンセミナー II 「小児耳疾患に対する保存的治療と手術的治療」 司会：荒川浩一 演者：飯野ゆき子	
14:00		13:50～14:20 総会	
15:00	14:20～15:00 海外招聘講演 「Congenital aural atresia and stenosis associated with cholesteatoma.」 司会：西崎和則 演者：Fei-Peng Lee	14:20～15:00 手術手技セミナー I 「小児の人工内耳困難症例への対処」 司会：東野哲也 演者：福島邦博	
16:00	15:00～16:10 第 5 群 気道 演題：20～26 座長：鈴木雅明 高瀬真人	15:00～15:40 第10群 中耳炎合併症 演題：50～53 座長：小林俊光	
	16:10～17:00 第 6 群 悪性腫瘍 演題：27～31 座長：峯田周幸	15:40～16:40 第11群 中耳疾患 演題：54～59 座長：阪上雅史	
17:00		16:40～17:10 第12群 抗菌薬・細菌 演題：60～62 座長：鈴木賢二	
18:00	17:00～18:40 シンポジウム I 「小児難治症状への対応」 司会：森島恒雄 守本倫子	17:10～18:10 第13群 言語発達 I 演題：63～68 座長：山嵜達也 増田佐和子	
		18:10～18:40 第14群 言語発達 II 演題：69～71 座長：益田 慎	
19:00			19:00～ 会員懇親会 (岡山全日空ホテル19F「宙」)

日程表

第2日目 平成24年6月22日(金)

	第1会場 (コンベンションホール西)	第2会場 (コンベンションホール東)
7:00		
8:00		8:00～ 8:50 モーニングセミナー 「小児滲出性中耳炎治療における自己耳管通気療法の位置づけ」 司会：市村恵一 演者：仲野敦子
9:00	8:50～ 9:40 第15群 聴覚検査 演題：72～76 座長：細井裕司	8:50～ 9:20 第20群 免疫 演題：94～96 座長：福永慶隆
10:00	9:40～10:20 第16群 平衡・眼振・顔面神経 演題：77～80 座長：武田憲昭	9:20～10:30 第21群 頭頸部腫瘍・異物 演題：97～103 座長：家根且有 愛場庸雅
11:00	10:20～11:00 第17群 中耳・外耳症例 演題：81～84 座長：小林一女	10:30～11:10 第22群 嚥下手術 演題：104～107 座長：佐野光仁
12:00	11:10～12:10 特別講演 「未来ある子どもたちをたばこから守るために」 司会：市村恵一 演者：高橋裕子	
13:00	12:20～13:20 ランチョンセミナーⅢ 「Can we predict language and literacy outcomes 7-10 years after implantation?」 司会：加我君孝 演者：Leo de Reave	12:10～13:10 ランチョンセミナーⅣ 「小児の気道に関する諸問題—特に喘鳴について—」 司会：川城信子 演者：工藤典代
14:00	13:30～14:10 第18群 感音難聴 演題：85～88 座長：杉内智子	13:20～14:00 手術手技セミナーⅡ 「乳幼児の呼吸障害に対する対応 喉頭軟弱症、睡眠時無呼吸から気管狭窄まで外科的対応を中心に」 司会：原田 保 演者：阪本浩一
15:00	14:10～15:00 第19群 難聴症例 演題：89～93 座長：井口郁雄	14:00～15:00 第23群 下気道手術 演題：108～113 座長：小河原昇 安岡義人
16:00	15:00～16:40 シンポジウムⅡ 「言語発達評価から読み解く難聴児の現状」 司会：氷見徹夫 中川尚志	15:00～16:00 第24群 深頸部感染症Ⅰ 演題：114～119 座長：大越俊夫 赤木博文
17:00	閉会の辞	16:00～16:50 第25群 深頸部感染症Ⅱ 演題：120～124 座長：竹内万彦
18:00		
19:00		

参加者へのご案内

1. 参加受付について

すべての参加登録は当日会場でのみ受付いたします。事前登録は行いません。当日、学会場受付にてご登録いただき、ネームカード（領収証付き）をお受け取り下さい。

会期中は必ずネームカードをご着用下さい。ネームカードのない方のご入場はお断りしますので、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

参加登録費 13,000円

受付場所・日時

岡山コンベンションセンター 3階ホワイエ

6月21日（木）8時00分～19時00分

6月22日（金）7時30分～16時00分

医学部学生，研修医の参加について

医学部学生，研修医（新医師臨床研修制度による）の参加が認められております。参加費は無料です。参加希望の方は5月31日（木）までに学会事務局（e-mail: ped7th@md.okayama-u.ac.jp）まで、氏名，所属，連絡先を明記の上，電子メールにてお申し込み下さい。

尚，当日会場受付にて所属責任者からの証明を確認させていただきます。

2. 専門医関連学術講演会参加登録/参加証について

当日の学会場受付にて，ネームカードを受け取り，所属・氏名をご記入いただいたネームカードを着用した上で，専門医参加登録/参加証受け取りを行って下さい。

日本耳鼻咽喉科学会認定耳鼻咽喉科専門医の方は，「日耳鼻専門医証（IDカード）」および「学術集会参加報告票」が必要です。耳鼻咽喉科専門医受付にて登録を行ってください。

日耳鼻専門医証（IDカード）および学術集会参加報告票をお忘れの方は，「ネームカードのコピーとともに学術集会参加報告票」を学会終了後1週間以内に第7回日本小児耳鼻咽喉科学会事務局（〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学）までご郵送ください。

小児科専門医の方は、本学術講演会参加による基本単位は5単位です。小児科専門医受付にて参加証を配付いたします。

3. プログラム・抄録集

当日、抄録集の購入を希望される方は参加受付（3階）でお問い合わせ下さい。1部2,000円で販売いたします。お支払いは現金のみとさせていただきます。

4. 会員懇親会

6月21日（木）19時より岡山全日空ホテル19階「宙」にて行います。会費は無料です。

ネームカードをご着用の上、奮ってご参加下さい。

5. クローク

3階ホワイエにクロークを設けますのでご利用下さい。

なお、貴重品に関しましては当事務局では責任を負いかねますので、各自お手持ち下さいますよう、お願いいたします。

6. 書籍販売・ドリンクサービス

3階302会議室にてドリンクサービスを行います。

また、書籍販売は3階ホワイエにて行います。

皆様ご自由にご利用下さい。

7. モーニングセミナーについて

6月22日（金）コンベンションホール東（第2会場）にて開催いたします。

軽食の準備をさせていただきます。

8. ランチョンセミナーについて

6月21日（木）、22日（金）ともに、コンベンションセンター西（第1会場）、コンベンションセンター東（第2会場）にて行います。

9. 伝言・呼び出しについて

各会場とも緊急時以外の呼び出しはいたしませんのでご了承下さい。

メッセージボードを用意いたしますのでご利用ください。

10. お願い

会場内は全て禁煙ですので館内での喫煙はお断りいたします。

会場内はドリンクコーナーのみ飲食可能です。

それ以外の場所での飲食はお断りいたします。

会場内では携帯電話の電源をお切りになるか、マナーモードに設定願います。

11. 関連行事

理 事 会：6月21日（木）7時30分～8時20分 岡山全日空ホテル 1F「曲水」

評議員会：6月21日（木）8時30分～9時20分 岡山コンベンションセンター3F
301会議室

総 会：6月21日（木）13時50分～14時20分 コンベンションホール東(第2会場)

発表についてのご案内

【一般演題発表の皆様へ】

口演は、PCでのPower Pointによるプレゼンテーションのみとさせていただきます。会場のPC環境は、OSがWindows（XP, Vista, 7）、アプリケーションはWindows版Power Point 2003・2007・2010となります。Macintoshをご使用の先生はPC本体をお持込ください。

※動画または音声を含む場合も、PC発表とさせていただきます。ビデオはご使用いただけませんので、ご了承ください。

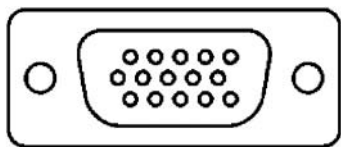
一般演題は、発表時間7分・討論3分で、投影は1面です。

PC発表の注意点

発表の際は演台に設置しております操作用キーパッドを使って、演者ご自身により操作をお願いいたします。オペレーターによる操作をご希望の方は会場にて、事前に進行係にお伝えください。また、ご自身のPCを操作されることも可能です。

〈PC発表〉

- (1) 発表に際してはデータでお預かりの先生はUSBフラッシュメモリー（Windowsのみ）のみです。PC本体をお持込みの先生はWindows・Macintoshどちらでも可能です。動画をご使用の先生、Macをご希望の先生はPC本体をお持込みください。
- (2) 発表の1時間前までにPC受付（3Fエントランスホール）にて用意したチェックシートに必要な事項をご記入後、専門のPCオペレーター立ち会いのもと動作確認を行ってください。
- (3) 下記ルールに基づいたPC接続の標準環境のみをご用意いたします。表現される画面の不具合については全て演者の責任となりますのでご注意ください。
- (4) PC接続は外部出力端子がD-Sub-15pinです。PCの機種によっては外部出力端子がD-Sub-15pin以外のものがございますので、必ずD-Sub-15pinで接続できるコネクタを各自ご持参ください。



D-sub15ピン

- (5) ご持参されるPCでの外部ディスプレイ出力が可能であることを必ずご確認ください。また、バッテリー切れを防ぐために電源アダプターをご持参ください。
- (6) 必ず発表データ（動画がある場合は動画ファイルを含む）を含んだ予備のメディアを持参してください。

(7) 当方での予備環境について

- ① OS : Windows (XP, Vista, 7)
- ② アプリケーション : Windows 版 Power Point 2003・2007・2010
- ③ 発表に使用できるデータ

Windows で作成した Microsoft Power Point のファイルのみとします。画面サイズは XGA (1024×768) になります。Mac 版 Power Point やその他のアプリケーションで作成されたデータは、受付できませんのでご注意ください。Mac 版 Power Point で作成したファイルを Windows 版 Power Point に変換した場合、データが正確に表現できない場合があります。上記環境の PC で全ての画面が不具合なく表現されることをあらかじめご確認の上、完成した形でお持ちください。

④ フォント

Windows XP (日本語版) に標準搭載されているフォントのみ使用可能です。

日本語 : MS ゴシック, MSP ゴシック, MS 明朝, MSP 明朝の 4 種類のみ。

英語 : Times New Roman, Arial, Arial Black, Arial Narrow, Century, Century Gothic, Courier, Courier New, Georgia の 9 種類のみ。

これ以外のフォントを使用した場合、正確に表現できない場合があります。

⑤ データ容量

データの容量は、650MB (総量) までとさせていただきます。

⑥ 動画について

動画を Power Point に埋め込む場合、Windows 版の Media Player で動作する形式をお使いください。これ以外のリアルタイムプレイヤー、クイックタイムプレイヤーなどの動画ソフトは利用できません。動画を使用する場合、リンク切れにご注意ください。メディアにコピーした後、作成した PC 以外での PC で動作確認することにより解決できます。尚、動画ファイルには拡張子を必ず付けてください。音声について PC からの音声再生につきましては一切対応いたしません。

⑦ メディアの持ち込み形式について

USB フラッシュメモリーのみの受付とさせていただきます。MO ディスク、スマートメディア、SD カード、メモリースティック、コンパクトフラッシュ等のメディアによる受付はいたしませんのでご注意ください。不測の事態に備えて、必ずバックアップデータをお持ちいただきますようお願い申し上げます。

⑧ データ名の統一について

持ち込まれるメディアには、当日発表されるデータ (完成版) 以外のデータを入れないでください。また、データのファイル名には、演題番号 (半角) に続けて、発表者の氏名 (漢字) を必ず付けてください。

【司会・座長の先生方へ】

- 1) セッション開始30分前までに必ず進行係（各会場右前方）にお声をお掛けください。
- 2) 各セッションの進行は司会・座長の先生方にお任せ致します。定刻通りの進行をお願い致します。

【討論・発言について】

- 1) 多くの会員の活発な討論・発言を歓迎致します。
- 2) 発言される方はあらかじめフロアマイクの前に待機し、司会者の指示に従って氏名・所属を述べた上で簡潔明瞭に行ってください。

【呼び出しについて】

各会場とも緊急事態以外の呼び出しはいたしませんのでご了承ください。
メッセージボードを用意いたしますのでご利用ください。

【連絡先】

第7回日本小児耳鼻咽喉科学会事務局

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科耳鼻咽喉・頭頸部外科学

〒700-8558 岡山市北区鹿田町 2-5-1

TEL : 086-235-7307 FAX : 086-235-7308

E-mail : ped7th@md.okayama-u.ac.jp

第7回日本小児耳鼻咽喉科学会総会 学術講演会 演題プログラム

第1日目 平成24年6月21日(木)

〈第1会場〉

開会の辞 9:25~9:30

会長：西崎 和則

(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学 教授)

一般演題

第1群 鼻検査・症例 9:30~10:10

座長：泰地 秀信

(国立成育医療研究センター 耳鼻咽喉科)

1 Acoustic Rhinometry による小児の鼻腔，上咽頭腔容積の測定方法についての基礎的検討

○木原 彩子，犬塚 恵美子，吉岡 哲志，堀部 晴司，内藤 健晴

藤田保健衛生大学 耳鼻咽喉科

2 1歳児における副鼻腔 X線検査の有用性

○川崎 一輝

国立成育医療研究センター 呼吸器科

3 嗅覚外来を受診した小児および若年者の検討

○篠 美紀¹⁾，古田 厚子²⁾，小林 一女²⁾，洲崎 春海²⁾

1) 昭和大学

2) 昭和大学医学部 耳鼻咽喉科学教室

4 小児線状眼窩底骨折2症例の検討

○朝日 淳仁

市立稚内病院 耳鼻咽喉科

第2群 副鼻腔 10:10~11:00

座長：岡野 光博

(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学)

5 小児上顎洞性後鼻孔ポリープの臨床的検討

○井内 寛之，牧瀬 高穂，大堀 純一郎，宮下 圭一，川島 雅樹，黒野 祐一

鹿児島大学病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学

6 当科で施行した小児副鼻腔手術症例の検討

○油井 健史¹⁾, 林 武史¹⁾, 本間 博臣¹⁾, 鈴木 貴裕¹⁾, 竹村 栄毅¹⁾,
洲崎 春海²⁾

1) 横浜労災病院 耳鼻咽喉科

2) 昭和大学医学部 耳鼻咽喉科学教室

7 当科での小児に対する鼻内内視鏡手術の経験

○堀川 利之

福井県済生会病院 耳鼻咽喉科頸部外科

8 保存的に治療した小児眼窩骨膜下膿瘍例

○入川 直矢^{1,2)}, 柴山 将之²⁾, 清水 猛史²⁾

1) 日野記念病院 耳鼻咽喉科

2) 滋賀医科大学 耳鼻咽喉科

9 小児の外傷性咽後膿瘍の2例

○大割 貢, 野瀬 恵介, 小角 卓也, 山内 勝治, 森下 祐次, 木村 浩基,
米倉 竹夫

近畿大学医学部奈良病院 小児外科

第3群 アレルギー性鼻炎 11:00~11:50

座長: 川崎 一輝(国立成育医療研究センター 呼吸器科)

10 小児における吸入抗原感作率の検討

○兵 行義, 原田 保

川崎医科大学 耳鼻咽喉科

11 低年齢児におけるアレルギー性鼻炎の成立に関する検討

○増田 佐和子, 臼井 智子

国立病院機構三重病院 耳鼻咽喉科

12 小児アレルギー性鼻炎の長期予後に関する検討(2005年と2011年の比較)

○櫻井 利興, 米倉 修二, 山崎 一樹, 岡本 美孝

千葉大学大学院医学研究院 耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学

13 小児気管支喘息のコントロール状態はアレルギー性鼻炎に影響されるか~SACRA Questionnaireを用いた検討~

○増田 敬¹⁾, 大久保 公裕²⁾

1) 同愛記念病院 小児科

2) 日本医科大学 耳鼻咽喉科

14 集団生活を行う児童養護施設での耳鼻科の役割と問題点

○佐久間 嘉子¹⁾, 安達 のどか²⁾, 浅沼 聡²⁾, 坂田 英明³⁾

1) 目白大学クリニック

2) 埼玉県立小児医療センター

3) 目白大学保健医療学部 言語聴覚学科

第4群 扁桃・アデノイド 11:50~12:40

座長：鈴木 有子

(金沢医科大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学)

- 15 上気道狭窄に起因する睡眠時呼吸障害を呈した2歳未満症例への対応
—当科手術症例の検討を中心に—
○有本 友季子¹⁾, 仲野 敦子¹⁾, 工藤 典代²⁾
1) 千葉県こども病院 耳鼻咽喉科
2) 千葉県立保健医療大学健康科学部 栄養学科
- 16 術後集中治療管理を行ったアデノイド, 口蓋扁桃手術症例の検討
○笹村 佳美¹⁾, 菊池 恒²⁾, 松澤 真吾²⁾, 上村 佐恵子²⁾, 市村 恵一²⁾
1) 自治医科大学
2) 自治医科大学医学部 耳鼻咽喉科学
- 17 小児の口蓋扁桃摘出術における, コプレーター®使用術式と従来の術式との比較検討
○菊池 恒, 笹村 佳美, 島田 茉莉, 山際 華子, 長友 孝文, 市村 恵一
自治医科大学 医学部 耳鼻咽喉科
- 18 紫斑病性腎炎に対する口蓋扁桃摘出術後の一過性症状悪化
○松谷 幸子
仙台赤十字病院 耳鼻咽喉科
- 19 当センターでのIgA腎症に対する扁桃摘・ステロイドパルス療法の検討
○田辺 輝彦¹⁾, 小河原 昇¹⁾, 井上 真規¹⁾, 高橋 英彦²⁾
1) 神奈川県立こども医療センター 耳鼻咽喉科
2) 神奈川県立こども医療センター 感染免疫科

ランチオンセミナー I 12:50~13:50

「International trends in Paediatric Cochlear Implantation: What factors contribute to optimal outcomes?」

司会：氷見 徹夫 (札幌医科大学 耳鼻咽喉科学)

演者：John Niparko (Johns Hopkins Hospital)

海外招聘講演 14:20~15:00

「Congenital aural atresia and stenosis associated with cholesteatoma.」

司会：西崎 和則

(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学)

演者：Fei-Peng Lee (Department of Otolaryngology, Taipei Medical University-Wan Fang Hospital, Taipei, Taiwan)

第5群 気道 15:00~16:10

座長：鈴木 雅明

(帝京大学医学部ちば総合医療センター 耳鼻咽喉科)

高瀬 真人(日本医科大学多摩永山病院 小児科)

20 喘息患者へバイオブロック療法と上顎牽引術を適用した1例

○三谷 寧, 益子 正範

医療法人社団三親会 ひかり歯科

21 小児病院での外来患者における哺乳障害の現状—看護師による哺乳指導について—

○加藤 玲子¹⁾, 安達 のどか²⁾, 浅沼 聡²⁾, 二藤 隆春³⁾, 坂田 英明⁴⁾

1) 埼玉県立小児医療センター 外科第二病棟 摂食・嚥下障害看護認定看護師

2) 埼玉県立小児医療センター 耳鼻咽喉科

3) 東京大学付属病院 耳鼻咽喉科

4) 目白大学保健医療学部 言語聴覚学科

22 プラダー・ウィリー症候群に対する耳鼻咽喉科医の役割について

○工 穰¹⁾, 古庄 知己²⁾, 宇佐美 真一¹⁾

1) 信州大学医学部 耳鼻咽喉科

2) 信州大学医学部附属病院 遺伝子診療部

23 乳児舌根嚢胞の1例

○野田 洋平, 假谷 伸, 平井 悠, 大道 亮太郎, 西崎 和則

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学

24 新生児に認めた喉頭蓋嚢胞の1例

○平田 結, 野村 研一郎, 小林 祐希, 片山 昭公, 高原 幹, 國部 勇,

片田 彰博, 林 達哉, 原渕 保明

旭川医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

25 プロプラノロールが無効であった巨大乳幼児血管腫症例

○石野 岳志, 井門 謙太郎, 竹野 幸夫, 平川 勝洋

広島大学医学部 耳鼻咽喉科

26 喉頭裂を伴った喉頭軟弱症の1例 第2報

○佐藤 幸一郎¹⁾, 福田 一代¹⁾, 八木 久子¹⁾, 大木 康史¹⁾, 荒川 浩一¹⁾,

飯田 英基²⁾, 川田 倫之²⁾, 村田 考啓²⁾, 安岡 義人²⁾

1) 群馬大学医学部附属病院 小児生体防御学

2) 群馬大学大学院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学

第6群 悪性腫瘍 16:10~17:00

座長：峯田 周幸

(浜松医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学)

27 陽子線治療を施行した小児耳下腺粘表皮癌の1症例

○村田 考啓¹⁾, 長井 今日子¹⁾, 中島 恭子¹⁾, 安岡 義人²⁾, 近松 一朗¹⁾

1) 群馬大学医学部 耳鼻咽喉科

2) 鶴谷病院 耳鼻咽喉科

28 耳下腺腺房細胞癌の1例

○横山 純吉, 池田 勝久

順天堂大学医学部 耳鼻咽喉・頭頸科

29 若年女性の甲状舌管嚢胞に発生した乳頭癌の一例

○木原 あゆみ, 外山 勝浩, 東野 哲也

宮崎大学医学部 耳鼻咽喉・頭頸部外科学

30 片側の眼球突出を主訴に耳鼻咽喉科を受診した2症例

○山際 華子¹⁾, 笹村 佳美²⁾, 菊池 恒¹⁾, 市村 恵¹⁾

1) 自治医科大学 医学部 耳鼻咽喉科

2) 自治医大とちぎ子ども医療センター 耳鼻咽喉科

31 Nasal glioma の二例

○西村 洋, 佐野 光仁, 廣瀬 正幸

大阪府立母子保健総合医療センター 耳鼻咽喉科

シンポジウム I 17:00~18:40

「小児難治症状への対応」

司会：森島 恒雄

(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 小児医科学)

守本 倫子

(国立成育医療研究センター 耳鼻咽喉科)

—小児の難治性耳漏の治療経験—

上出 洋介

かみで耳鼻咽喉科クリニック

—鼻閉について—

吉村 剛

獨協医科大学越谷病院 耳鼻咽喉科

—当科での小児閉塞性睡眠時無呼吸の治療方針—

相澤 直孝

新潟大学医学部 耳鼻咽喉科

—摂食・嚥下障害について—

森 正博

森耳鼻咽喉科

—慢性咳嗽への小児科的アプローチ—

久保 俊英

国立病院機構岡山医療センター 小児科

〈第2会場〉

第7群 幼小児難聴 9:30~10:10

座長：坂田 英明

(目白大学保健医療学部言語聴覚学科)

32 当科における新生児スクリーニング一側要精査症例の検討

○任 智美¹⁾, 奥中 美恵子²⁾, 北條 和歌³⁾, 西口 道子¹⁾, 阪上 雅史¹⁾

1) 兵庫医科大学 耳鼻咽喉科

2) 明和病院 耳鼻咽喉科, 3) 尼崎中央病院 耳鼻咽喉科

33 新生児期から乳児期の軽・中等度難聴の検討

○浅沼 聡¹⁾, 安達 のどか¹⁾, 横田 進²⁾, 坂田 英明³⁾, 山嵜 達也⁴⁾,

加我 君孝⁵⁾

1) 埼玉県立小児医療センター 耳鼻咽喉科

2) 埼玉県立小児医療センター 検査技術部

3) 目白大学保健医療学部 言語聴覚科

4) 東京大学医学部 耳鼻咽喉科

5) 東京医療センター臨床研究センター (感覚器センター)

34 ことばの遅れを主訴に当科を受診した小児の検討

○奥中 美恵子¹⁾, 任 智美²⁾, 北條 和歌³⁾, 阪上 雅史²⁾

1) 明和病院 耳鼻咽喉科

2) 兵庫医科大学 耳鼻咽喉科

3) 尼崎中央病院 耳鼻咽喉科

35 難聴を伴う重複障害児の変遷 1980年から2011年において

○力武 正浩^{1,2)}, 加我 君孝^{2,3)}

1) 東京慈恵会医科大学 耳鼻咽喉科

2) 東京医療センター感覚器センター

3) 国際医療福祉大学三田病院 耳鼻咽喉科

第8群 人工内耳 10:10~11:30

座長：宇佐美 真一 (信州大学医学部 耳鼻咽喉科学)

長井 今日子

(群馬大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学)

36 低出生体重児における人工内耳の検討

○原 稔¹⁾, 木原 千春¹⁾, 隈上 秀高¹⁾, 神田 幸彦²⁾, 高橋 晴雄¹⁾

1) 長崎大学病院 耳鼻咽喉科

2) 耳鼻咽喉科 神田 E・N・T 医院

37 CHARGE 症候群の両側高度感音難聴に対して人工内耳埋め込み術を施行した3例

○宮下 美恵, 正垣 直樹, 斉藤 和也, 土井 勝美

近畿大学医学部 耳鼻咽喉科教室

38 当科における重複障害児の人工内耳装用の経過

○川端 文¹⁾, 新谷 朋子^{1,2)}, 才川 悦子¹⁾, 吉野 真代²⁾, 北川 可恵³⁾,
氷見 徹夫¹⁾

- 1) 札幌医科大学 耳鼻咽喉科
- 2) とも耳鼻科クリニック
- 3) 北海道立こども総合医療・療育センター 耳鼻咽喉科

39 小児人工内耳装用者における環境音聴取能の検討

○赤松 裕介¹⁾, 尾形 エリカ¹⁾, 樫尾 明憲¹⁾, 狩野 章太郎¹⁾, 加我 君孝²⁾,
山嵜 達也¹⁾

- 1) 東京大学医学部 耳鼻咽喉科学教室
- 2) 国際医療福祉大学 三田病院

40 小児人工内耳装用者における音楽聴取能の検討

○尾形 エリカ, 赤松 裕介, 樫尾 明憲, 狩野 章太郎, 山嵜 達也
東京大学医学部 耳鼻咽喉科学教室

41 一定の補聴効果を認めた上で5歳以降に人工内耳を施行した先天性重度難聴児4例の検討

○樫尾 明憲¹⁾, 尾形 エリカ¹⁾, 赤松 裕介¹⁾, 安達 のどか²⁾, 狩野 章太郎¹⁾,
山嵜 達也¹⁾

- 1) 東京大学医学部 耳鼻咽喉科
- 2) 埼玉県立小児医療センター 耳鼻咽喉科

42 発見が遅れた難聴児に対する人工内耳装用効果および言語指導について

○藤吉 昭江¹⁾, 福島 邦博²⁾, 長安 吏江²⁾, 菅谷 明子²⁾, 笠井 紀夫^{2,3)},
西崎 和則²⁾

- 1) 岡山大学病院耳鼻咽喉科 言語聴覚外来
- 2) 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学
- 3) 公益財団法人 テクノエイド協会

43 遺伝子検査により診断が確定した *MYO7A* 遺伝子変異による Usher 症候群 (TypeI) の人工内耳小児症例

○木原 千春¹⁾, 神田 幸彦²⁾, 原 稔¹⁾, 福田 智美¹⁾, 隈上 秀高¹⁾,
高橋 晴雄¹⁾, 吉村 豪兼³⁾, 宇佐美 真一³⁾

- 1) 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 病態解析・制御学講座 耳鼻咽喉病態制御学
- 2) 神田 E・N・T 医院 長崎バルヒアリングセンター
- 3) 信州大学医学部 耳鼻咽喉科

第9群 急性中耳炎・他 11:30~12:30

座長：伊藤 真人

(金沢大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

林 達哉

(旭川医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学)

44 反復性中耳炎の背景因子の検討 ―発症の危険因子について―

○伊藤 真人¹⁾, 丸山 裕美子²⁾

1) 金沢大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

2) 黒部市民病院

45 受動喫煙と小児中耳炎

○加藤 俊徳

加藤耳鼻咽喉科医院

46 急性中耳炎の発熱における細菌とRSウイルス感染の影響について

○岩永 康成

いわなが耳鼻咽喉科クリニック

47 当院における小児急性中耳炎の現状

○坂井田 麻祐子, 莊司 邦夫

三重耳鼻咽喉科

48 当科における急性中耳炎治療の検討

○臼井 智子, 増田 佐和子

独立行政法人国立病院機構三重病院 耳鼻咽喉科

49 オゼックス細粒使用成績調査における中耳炎および肺炎に対する有効性・安全性の検討および使用実態の確認

○鈴木 賢二¹⁾, 岩田 敏²⁾, 高山 真一郎³⁾, 砂川 慶介⁴⁾

1) 藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

2) 慶應義塾大学医学部 感染制御センター

3) 国立成育医療研究センター 臓器・運動器病態外科部

4) 北里大学北里生命科学研究所特別研究部門

ランチョンセミナーⅡ 12:40~13:40

「小児耳疾患に対する保存的治療と手術的治療」

司会：荒川 浩一

(群馬大学大学院医学系研究科 小児科学分野)

演者：飯野 ゆき子

(自治医科大学附属さいたま医療センター 耳鼻咽喉科)

総会 13:50~14:20

手術手技セミナー I 14:20~15:00

「小児の人工内耳困難症例への対処」

司会：東野 哲也

(宮崎大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科学)

演者：福島 邦博

(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学)

第10群 中耳炎合併症 15:00~15:40

座長：小林 俊光

(東北大学医学部 耳鼻咽喉・頭頸部外科)

50 小児の急性乳様突起炎の18例

○岩崎 麻衣子, 三塚 沙希, 守本 倫子, 泰地 秀信

成育医療研究センター 耳鼻咽喉科

51 内頸静脈血栓症を合併した両側の急性乳様突起炎の1症例

○早水 佳子, 黒野 祐一

鹿児島大学病院医歯学総合研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学

52 中耳炎から乳突洞炎に進展し、硬膜下膿瘍を合併した1例

○村山 義史¹⁾, 田端 秀之¹⁾, 鶴川 寿子¹⁾, 平井 康太¹⁾, 菅沼 栄介¹⁾,

杉山 延喜¹⁾, 石黒 寛之¹⁾, 松田 晋一¹⁾, 新村 文男¹⁾, 王 康雅²⁾,

平山 晃大³⁾, 長田 貴洋³⁾, 小田桐 恭子⁴⁾, 浜田 昌史⁴⁾, 望月 博之¹⁾

1) 東海大学医学部専門診療学系 小児科学

2) 東海大学医学部付属八王子病院 小児科

3) 東海大学医学部外科学系 脳神経外科学

4) 東海大学医学部専門診療学系 耳鼻咽喉科学

53 硬膜外膿瘍を合併したムコーズ中耳炎例

○橋 智靖, 小河原 悠哉, 松山 祐子, 阿部 郁

姫路赤十字病院 耳鼻咽喉科

第11群 中耳疾患 15:40~16:40

座長：阪上 雅史 (兵庫医科大学耳鼻咽喉科)

54 当院における耳小骨奇形の検討

○久保田 亘¹⁾, 松井 和夫²⁾, 大田 隆之²⁾, 呉 晃一²⁾, 江洲 欣彦²⁾,

木下 佳奈¹⁾

1) 聖隷浜松病院 耳鼻咽喉科

2) 聖隷横浜病院

55 当科における先天性真珠腫症例の検討

○小河原 昇, 井上 真規, 田辺 輝彦

神奈川県立こども医療センター 耳鼻咽喉科

56 最近8年間で経験した小児後天性真珠腫37症例の検討

○江洲 欣彦¹⁾, 松井 和夫^{1,2)}, 大田 隆之¹⁾, 呉 晃一¹⁾, 三好 豊¹⁾,
久保田 亘²⁾, 木下 佳奈²⁾

1) 聖隷横浜病院

2) 聖隷浜松病院

57 当科における小児慢性中耳炎の術後成績

○原 真理子, 飯野 ゆき子, 吉田 尚弘, 金沢 弘美, 新鍋 晶浩, 長谷川 雅世
自治医科大学さいたま医療センター 耳鼻咽喉科

58 チューブ留置術後の永久穿孔に対する炭酸ガスレーザーを用いた鼓膜形成術

○澤田 正一

さわだ耳鼻咽喉科・眼科

59 小児滲出性中耳炎における側頭骨CTでの含気化評価と治療予後

○新鍋 晶浩, 原 真理子, 長谷川 雅世, 松澤 真吾, 金沢 弘美, 吉田 尚弘, 飯野 ゆき子
自治医科大学附属さいたま医療センター 耳鼻咽喉科

第12群 抗菌薬・細菌 16:40~17:10

座長: 鈴木 賢二

(藤田保健衛生大学坂文種報徳曾病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

60 ガイドライン推奨抗菌薬の感受性変化

○林 達哉, 平田 結, 吉田 沙絵子, 野村 研一郎, 高原 幹, 國部 勇,
片田 彰博, 原渕 保明

旭川医科大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

61 抗菌薬の長期投与により低カルニチン血症を来たし、低血糖症を発症した1例

○須藤 敏, 崎浜 教之

沖縄県立中部病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科

62 乳幼児下気道感染症例の上咽頭から検出された肺炎球菌株の血清型・薬剤耐性のPCV7接種普及による変化

○成相 昭吉

横浜南共済病院 小児科

第13群 言語発達 I 17:10~18:10

座長: 山嵜 達也

(東京大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉科学分野)

増田佐和子(国立病院機構三重病院 耳鼻咽喉科)

63 きこえの質問項目を加えた広島市の4か月児健康相談の現況

○井口 郁雄¹⁾, 江草 憲太郎¹⁾, 林谷 道子²⁾, 佐藤 朋子³⁾, 古川 智恵⁴⁾,
石井 のり子⁴⁾

1) 広島市立広島市民病院 耳鼻咽喉科 頭頸部外科

2) 広島市立広島市民病院 新生児科

3) 難聴幼児通園児施設 山彦園

4) 広島市こども未来局 こども・家庭支援課

- 64 読み書き障害の早期発見を目的としたスクリーニング検査の試作
○益田 慎, 長嶺 尚代, 福島 典之
県立広島病院 小児感覚器科
- 65 0歳から補聴器を装用した乳幼児のきこえの経時的発達
○富澤 晃文^{1,2)}, 佐久間 嘉子²⁾, 遠藤 まゆみ²⁾, 坂田 英明^{1,2)}
1) 目白大学保健医療学部 言語聴覚学科
2) 目白大学クリニック
- 66 難聴児における言語発達中間群の特徴について
○菅谷 明子, 福島 邦博, 笠井 紀夫, 藤吉 昭江, 西崎 和則
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学
- 67 ALADJINを用いた軽度・中等度難聴児の言語発達評価
○樋口 仁美, 村上 健, 永田 里恵, 中川 尚志
福岡大学医学部 耳鼻咽喉科
- 68 聴覚障害児・者の言語性知能と読書力成績について
○橋本 かほる¹⁾, 能登谷 晶子^{1,2)}, 原田 浩美³⁾, 伊藤 真人^{1,2)}
1) 金沢大学大学院医学系研究科
2) 金沢大学医薬保健研究域
3) 聖隷クリストファー大学リハビリテーション学部

第14群 言語発達Ⅱ 18:10~18:40

座長: 益田 慎 (県立広島病院小児感覚器科)

- 69 聴覚障害幼児の助詞の指導 —幼児の認知・行動発達に沿った文レベルの指導—
○原田 浩美¹⁾, 能登谷 晶子²⁾, 橋本 かほる³⁾, 伊藤 真人⁴⁾
1) 聖隷クリストファー大学 リハビリテーション学部 言語聴覚学科
2) 金沢大学医薬保健研究域保健学系
3) 金沢大学大学院医学系研究科保健学専攻博士後期課程
4) 金沢大学医薬保健研究域医学系
- 70 Auditory neuropathy 疑い症例の経過と補聴・療育について
○杉内 智子¹⁾, 佐藤 紀代子¹⁾, 調所 廣之¹⁾, 松永 達雄²⁾, 熊川 孝三³⁾
1) 関東労災病院耳鼻咽喉科 感覚器センター
2) 東京医療センター 耳鼻咽喉科 感覚器センター 聴覚障害研究室
3) 虎ノ門病院 耳鼻咽喉科
- 71 舌下神経麻痺を合併したメビウス症候群症例—就学前までの言語発達—
○黒谷 まゆみ¹⁾, 仲野 敦子¹⁾, 有本 友季子¹⁾, 猪野 真純¹⁾, 石田 多恵子²⁾,
工藤 典代³⁾
1) 千葉県こども病院 耳鼻咽喉科
2) 臨床敬心クリニック
3) 千葉県立保健医療大学健康科学部 栄養学科

第2日目 6月22日(金) 第1会場

〈第1会場〉

第15群 聴覚検査 8:50~9:40

座長: 細井 裕司

(奈良県立医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学)

72 当該年齢の正常値比較を載せた ABR 検査報告書の構築

○横田 進¹⁾, 榎本 英雄¹⁾, 安達 のどか²⁾, 浅沼 聡²⁾, 坂田 英明³⁾

- 1) 埼玉県立小児医療センター 検査技術部
- 2) 埼玉県立小児医療センター 耳鼻咽喉科
- 3) 目白大学 保健医療学部 言語聴覚学科

73 先天性難聴児の聴力改善群における ABR 波形と特徴

○安達 のどか¹⁾, 浅沼 聡¹⁾, 横田 進²⁾, 坂田 英明³⁾, 山唄 達也⁴⁾,
加我 君孝⁵⁾

- 1) 埼玉県立小児医療センター 耳鼻咽喉科
- 2) 埼玉県立小児医療センター 検査技術部
- 3) 目白大学保健医療学部 言語聴覚学科
- 4) 東京大学付属病院 耳鼻咽喉科
- 5) 東京医療センター臨床研究(感覚器)センター

74 他覚的聴力検査と自覚的聴力検査の閾値の乖離例に関する検討

○阪本 浩一, 大津 雅秀
兵庫県立こども病院

75 一側性難聴児の雑音負荷時の聴取能についての検討

○島田 亜紀¹⁾, 千田 いづみ¹⁾, 藤本 知佐¹⁾, 長嶋 比奈美^{1,2)}, 宇高 二良^{1,2)},
武田 憲昭¹⁾

- 1) 徳島大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
- 2) 宇高耳鼻咽喉科医院

76 耳鼻咽喉科外来に受診する子どもへのプレパレーションの取り組み

○半田 浩美¹⁾, 小原 明美¹⁾, 高木 尚江¹⁾, 山本 礼子¹⁾, 福島 邦博²⁾,
西崎 和則²⁾

- 1) 岡山大学病院 看護部
- 2) 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学

第16群 平衡・眼振・顔面神経 9:40~10:20

座長: 武田 憲昭 (徳島大学医学部耳鼻咽喉科)

77 小児のめまい・平衡障害 —ENG 検査は有用か?—

○坂田 英明¹⁾, 遠藤 まゆみ²⁾, 浅沼 聡³⁾, 安達 のどか³⁾, 加我 君孝⁴⁾

- 1) 目白大学保健医療学部 言語聴覚学科
- 2) 目白大学クリニック, 3) 埼玉県立小児医療センター
- 4) 東京医療センター 臨床研究(感覚器)センター

78 先天性自発眼振の病態生理と治療についての検討

○遠藤 まゆみ¹⁾, 坂田 英明²⁾, 佐久間 嘉子¹⁾

- 1) 目白大学クリニック
- 2) 目白大学保健医療学部 言語聴覚学科

79 2歳未満で発症した後天性顔面神経麻痺症例の検討

○田中 学¹⁾, 安達 のどか²⁾, 浅沼 聡²⁾, 坂田 英明³⁾, 加我 君孝⁴⁾

- 1) 埼玉県立小児医療センター 神経科
- 2) 埼玉県立小児医療センター 耳鼻咽喉科
- 3) 目白大学保健医療学部 言語聴覚学科
- 4) 国立病院機構 東京医療センター 臨床研究(感覚器)センター

80 幼児期早期に発症した Ramsey—Hunt 症候群の 1 症例

○兼坂 寛子¹⁾, 有本 友季子¹⁾, 仲野 敦子¹⁾, 有本 昇平²⁾, 工藤 典代³⁾

- 1) 千葉県こども病院 耳鼻咽喉科
- 2) 千葉県がんセンター 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
- 3) 千葉県立保健医療大学健康科学部 栄養学科

第17群 中耳・外耳症例 10:20~11:00

座長: 小林 一女(昭和大学医学部 耳鼻咽喉科学)

81 新生児聴覚スクリーニングで要精密検査であった耳小骨奇形合併先天性真珠腫の一例

○大道 亮太郎, 片岡 祐子, 宮武 智実, 前田 幸英, 福島 邦博, 西崎 和則
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学

82 チューブ挿入術後に生じたと考えられる中耳真珠腫症例の検討

○松井 和夫, 大田 隆之, 呉 晃一, 江洲 欣彦, 三好 豊
聖隷横浜病院 耳鼻咽喉科

83 Huschke 孔由来瘻孔と思われる反復耳漏の 1 症例

○市川 朝也¹⁾, 大貫 裕香¹⁾, 小山 京子¹⁾, 安達 のどか²⁾, 坂田 英明³⁾

- 1) 東京都立小児総合医療センター 耳鼻いんこう科
- 2) 埼玉県立小児医療センター 耳鼻咽喉科
- 3) 目白大学保健医療学部 言語聴覚学科

84 外耳道への異物挿入を繰り返す自閉症児への対応

○藤本 知佐¹⁾, 宇高 二良^{1,2)}, 島田 亜紀¹⁾, 千田 いづみ¹⁾, 長嶋 比奈美^{1,2)},
武田 憲昭¹⁾

- 1) 徳島大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
- 2) 宇高耳鼻咽喉科医院

特別講演 11:10~12:10

「未来ある子どもたちをたばこから守るために」

司会：市村 恵一（自治医科大学医学部 耳鼻咽喉科学）

演者：高橋 裕子（奈良女子大学保健管理センター）

ランチオンセミナーⅢ 12:20~13:20

「Can we predict language and literacy outcomes 7-10 years after implantation?」

司会：加我 君孝（国立病院機構東京医療センター
臨床研究センター）

演者：Leo de Reave（the Royal School for the
Deaf and coordinator of Cochlear Implant
Team, Zonhoven, Belgium）

第18群 感音難聴 13:30~14:10

座長：杉内 智子（関東労災病院 感覚器センター）

85 当院における小児の突発性難聴の検討

○鈴木 貴裕¹⁾，林 武史¹⁾，本間 博臣¹⁾，油井 健史¹⁾，竹村 栄毅¹⁾，

三邊 武幸²⁾，洲崎 春海³⁾

1) 横浜労災病院 耳鼻咽喉科

2) 昭和大学藤が丘病院 耳鼻咽喉科

3) 昭和大学 耳鼻咽喉科学教室

86 小児がんに対するシスプラチン投与と聴力障害

○安井 直子¹⁾，安達 のどか²⁾，康 勝好¹⁾，浅沼 聡²⁾，坂田 英明³⁾

1) 埼玉県立小児医療センター 血液・腫瘍科

2) 埼玉県立小児医療センター 耳鼻咽喉科

3) 目白大学言語聴覚学科

87 難聴の進行を認めた *GJB2* 遺伝子変異の4例

○今井 直子¹⁾，熊川 孝三¹⁾，安達 のどか²⁾，浅沼 聡²⁾，坂田 英明³⁾，

山唄 達也⁴⁾，宇佐美 真一⁵⁾

1) 虎の門病院 耳鼻咽喉科

2) 埼玉県立小児医療センター 耳鼻咽喉科

3) 目白大学保健医療学部 言語聴覚学科

4) 東京大学医学部 耳鼻咽喉科

5) 信州大学医学部 耳鼻咽喉科

88 CDH23遺伝子変異が同定された Usher 症候群タイプ1症例

○吉村 豪兼¹⁾，福島 邦博²⁾，岩崎 聡³⁾，工 穰^{1,3)}，宇佐美 真一¹⁾

1) 信州大学 医学部 耳鼻咽喉科

2) 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学

3) 信州大学医学部附属病院 人工聴覚器学講座

第19群 難聴症例 14:10~15:00

座長:井口 郁雄

(広島市立広島市民病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

89 ABR, ASSR, COR にて異なる閾値を示した乳児例

○白根 美帆^{1,2)}, 木原 あゆみ¹⁾, 牛迫 泰明^{1,2)}, 福島 邦博³⁾, 東野 哲也¹⁾

- 1) 宮崎大学医学部 耳鼻咽喉・頭頸部外科学教室
- 2) 宮崎大学医学部附属病院耳鼻咽喉科 難聴支援センター
- 3) 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学

90 Pelizaeus-Merzbacher 病の聴力経過

○長井 今日子¹⁾, 椎原 隆²⁾, 中島 恭子¹⁾, 村田 考啓¹⁾, 安岡 義人^{1,3)}, 近松 一朗¹⁾

- 1) 群馬大学大学院 医学系研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
- 2) 群馬県立小児医療センター 神経内科
- 3) 鶴谷病院 耳鼻咽喉科

91 発見が遅れた小児難聴の1症例

○細川 久美子¹⁾, 三澤 由幾²⁾, 三澤 清¹⁾, 細川 誠二¹⁾, 峯田 周幸¹⁾

- 1) 浜松医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
- 2) 浜松医療センター 耳鼻咽喉科

92 診断に長期間を要した小児脳脊髄液減少症の1例

○住谷 智恵子¹⁾, 佐藤 美奈子²⁾, 國弘 幸伸³⁾

- 1) 慶應義塾大学医学部 医学科
- 2) 東京電力病院 耳鼻咽喉科
- 3) 慶應義塾大学医学部 耳鼻咽喉科学教室

93 一側性難聴で発見された小脳腫瘍小児例

○深美 悟, 春名 眞一, 平林 秀樹, 穂吉 亮平, 中村 真美子
獨協医科大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科

シンポジウムⅡ 15:00~16:40

「言語発達評価から読み解く難聴児の現状」

司会:氷見 徹夫(札幌医科大学 耳鼻咽喉科学)

中川 尚志(福岡大学医学部 耳鼻咽喉科学)

— 語音明瞭度からわかること —

高橋 真理子

名古屋市立大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科

— 発話明瞭度から見えてくる背景と言語発達 —

新谷 朋子

札幌医科大学耳鼻咽喉科・とも耳鼻科クリニック

— 療育法・教育法別により聴覚障碍児の言語発達にどのようなちがいがもたらされるのか? —

中澤 操

秋田県立リハビリテーション・精神医療センター 耳鼻咽喉科

—軽度・中等度難聴児の言語発達 補聴器装用の必要性を考える—

片岡 祐子

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学

〈追加発言〉言語聴覚士による介入指導—言語ドメイン別介入方法について—

藤吉 昭江

岡山大学病院 耳鼻咽喉科 言語聴覚外来

閉会の辞 16:40～

〈第2会場〉

モーニングセミナー 8:00~8:50

「小児滲出性中耳炎治療における自己耳管通気療法の位置づけ」

司会：市村 恵一(自治医科大学医学部 耳鼻咽喉科学)

演者：仲野 敦子(千葉県こども病院 耳鼻咽喉科)

第20群 免疫 8:50~9:20

座長：福永 慶隆(日本医科大学小児科学)

94 PFAPA 症候群50症例の臨床的検討

○大石 勉¹⁾, 安達 のどか²⁾, 浅沼 聡²⁾, 坂田 英明³⁾

1) 埼玉県立小児医療センター 感染免疫科

2) 埼玉県立小児医療センター 耳鼻咽喉科

3) 目白大学保健医療学部 言語聴覚学科

95 主要動脈の狭窄や拡張病変を認めず頸部痛と発熱で発症した大動脈炎症候群の一例

○丸山 裕美子¹⁾, 伊藤 真人²⁾

1) 黒部市民病院 耳鼻咽喉科

2) 金沢大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

96 発熱, 頸部腫脹を主訴に受診した移植後リンパ増殖症(PTLD)の一例

○松澤 真吾, 笹村 佳美, 市村 恵一

自治医科大学医学部 耳鼻咽喉科学

第21群 頭頸部腫瘍・異物 9:20~10:30

座長：家根 旦有

(近畿大学医学部奈良病院 耳鼻咽喉科)

愛場 庸雅(大阪市立総合医療センター 耳鼻咽喉科)

97 重複瘻管を疑った下咽頭梨状陥凹瘻の一例とその発生源についての検討

○中島 恭子¹⁾, 紫野 正人¹⁾, 村田 考啓¹⁾, 長井 今日子¹⁾, 安岡 義人²⁾,
近松 一朗¹⁾

1) 群馬大学医学系研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

2) 鶴谷病院 耳鼻咽喉科

98 左頸部に発生した Cervical chondrocutaneous branchial remnant の1例

○山崎 一春, 石川 和夫, 本田 耕平

秋田大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

99 小児の顎下腺唾石症3例

○青石 邦秀, 暁 清文, 羽藤 直人

愛媛大学医学部 耳鼻咽喉科

100 診断に苦慮した上咽頭奇形腫の一例

○山崎 一樹, 桜井 利興, 米倉 修二, 岡本 美孝

千葉大学大学院医学研究院 耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学

101 石灰化上皮腫の2例

○小野 麻友, 柴山 将之, 大脇 成広, 大道 千奈津, 立石 碧, 清水 猛史
滋賀医科大学 耳鼻咽喉科

102 気道異物の入院加療期間を左右する因子について

○日高 浩史¹⁾, 香取 幸夫^{1,2)}, 小林 俊光¹⁾
1) 東北大学病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科
2) 仙台市立病院 耳鼻咽喉科

103 10か月齢乳児でのプラスチック球 (BB 弾) による気管支異物の経験

○金村 信明, 愛場 庸雅, 古下 尚美, 頭司 隆史, 木下 彩子, 植村 剛
大阪市立総合医療センター

第22群 嚥下手術 10:30~11:10

座長: 佐野 光仁

(大阪府立母子保健総合医療センター 耳鼻咽喉科)

104 当科における重症心身障害児に対する誤嚥防止手術の検討

○成尾 一彦, 森本 千裕, 山下 哲範, 太田 一郎, 細井 裕司
奈良県立医科大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科

105 喉頭気管分離術 (気管弁法 A・B・C-type) の術式と手術のコツ

○安岡 義人¹⁾, 紫野 正人²⁾, 二宮 洋³⁾, 飯田 英基²⁾, 村田 考啓²⁾,
近松 一朗²⁾, 渡辺 美緒⁴⁾, 荒川 浩一⁵⁾
1) 鶴谷病院 耳鼻咽喉科
2) 群馬大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
3) 前橋赤十字病院 耳鼻咽喉科
4) 群馬県立小児医療センター 小児科
5) 群馬大学大学院医学系研究科 小児科

106 血管起始異常を有した重症心身障害者に対する声門閉鎖術

○千田 いづみ, 島田 亜紀, 田村 公一, 武田 憲昭
徳島大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

107 喉頭気管分離術後に気管腕頭動脈瘻を生じた1症例

○秋山 清治郎¹⁾, 持木 将人¹⁾, 仁藤 隆春²⁾, 鈴木 雅明¹⁾, 伊藤 健¹⁾
1) 帝京大学医学部 耳鼻咽喉科
2) 東京大学医学部 耳鼻咽喉科

ランチオンセミナーⅣ 12:10~13:10

「小児の気道に関する諸問題—特に喘鳴について—」

司会：川城 信子（前国立成育医療センター）

演者：工藤 典代

（千葉県立保健医療大学健康科学部 栄養学科）

手術手技セミナーⅡ 13:20~14:00

「乳幼児の呼吸障害に対する対応」

—喉頭軟弱症，睡眠時無呼吸から気管狭窄まで外科的対応を中心に—

司会：原田 保（川崎医科大学 耳鼻咽喉科）

演者：阪本 浩一（兵庫県立こども病院 耳鼻咽喉科）

第23群 下気道手術 14:00~15:00

座長：小河原 昇

（神奈川県立こども医療センター 耳鼻咽喉科）

安岡 義人（鶴谷病院 耳鼻咽喉科）

108 小児に有用な非挿管での自発換気下喉頭微細手術

○廣瀬 正幸，西村 洋，佐野 光仁

大阪府立母子保健総合医療センター 耳鼻咽喉科

109 声門下狭窄を伴う両側声帯麻痺に対する手術法

○泰地 秀信¹⁾，安岡 義人²⁾，守本 倫子¹⁾，三塚 沙希¹⁾，岩崎 麻衣子¹⁾

1) 国立成育医療研究センター 耳鼻咽喉科

2) 鶴谷病院 耳鼻咽喉科

110 輪状軟骨過形成による先天性声門下狭窄の1例

○浦田 真次^{1,2)}，二藤 隆春¹⁾，上羽 瑠美¹⁾，溜箭 紀子³⁾，安達 のどか⁴⁾，

浅沼 聡⁴⁾，坂田 英明^{4,5)}，山嵜 達也¹⁾

1) 東京大学医学部 耳鼻咽喉科

2) 埼玉医大総合医療センター

3) NTT 東日本関東病院

4) 埼玉県立小児医療センター

5) 目白大学クリニック

111 頸部伸展不良な奇形症候群2症例に対する気管切開術の経験

○須藤 敏，崎浜 教之

沖縄県立中部病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科

112 気管腕頭動脈瘻による出血に対しカフ付き挿管チューブにて一時止血を得たが，再出血し救命し得なかった症例

○関谷 真二

豊橋市民病院 耳鼻咽喉科

113 食道閉鎖症を伴う喉頭気管食道裂に対する手術治療の経験

○宮澤 徹^{1,2)}, 下出 祐造¹⁾, 辻 裕之¹⁾, 鈴鹿 有子¹⁾, 安井 良僚³⁾,
河野 美幸³⁾

- 1) 金沢医科大学医学部 耳鼻咽喉科頭頸部外科学
- 2) 浅ノ川総合病院 耳鼻咽喉科
- 3) 金沢医科大学医学部 小児外科学

第24群 深頸部感染症 I 15:00~16:00

座長: 大越 俊夫

(東邦大学医療センター大橋病院 耳鼻咽喉科)

赤木 博文(南岡山医療センター 耳鼻咽喉科)

114 小児の頸部膿瘍症例の検討

○島田 茉莉¹⁾, 笹村 佳美²⁾, 長友 孝文¹⁾, 川田 和己¹⁾, 市村 恵一¹⁾

- 1) 自治医科大学医学部 耳鼻咽喉科
- 2) 自治医大とちぎ子ども医療センター 耳鼻咽喉科

115 乳幼児深頸部膿瘍の3例

○長尾 明日香, 小森 正博, 西窪 加緒里, 兵頭 政光
高知大学医学部 耳鼻咽喉科

116 最近経験した乳幼児頸部膿瘍の3症例

○綾田 展明, 井口 郁雄, 江草 憲太郎, 皆木 正人, 福増 一郎, 三浦 直一
広島市立広島市民病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

117 保存的治療にて完治した小児の深頸部膿瘍の一例

○田中 妙子^{1,2)}

- 1) 福井県済生会病院 耳鼻咽喉科 頭頸部外科
- 2) 金沢大学付属病院

118 経口的に排膿術を行った小児副咽頭間隙膿瘍の2症例

○野口 直哉^{1,2)}, 日高 浩史²⁾, 小林 俊光²⁾

- 1) 東北厚生年金病院 耳鼻咽喉科
- 2) 東北大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科

119 小児扁桃周囲膿瘍の2例

○野垣 岳稔, 洲崎 勲夫, 平野 康次郎, 工藤 睦男, 小林 一女, 洲崎 春海
昭和大学医学部 耳鼻咽喉科学教室

第25群 深頸部感染症Ⅱ 16:00~16:50

座長：竹内 万彦

(三重大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学)

- 120 咽後膿瘍と川崎病に合併する咽後水腫を見極める方法
～国立成育医療研究センター case control study より～
○野村 理¹⁾, 橋本 直也¹⁾, 小穴 慎二¹⁾, 守本 倫子²⁾, 宮坂 実木子³⁾,
野坂 俊介³⁾, 泰地 秀信³⁾, 阪井 裕一¹⁾
1) 国立成育医療研究センター 総合診療部
2) 国立成育医療研究センター 耳鼻咽喉科
3) 国立成育医療研究センター 放射線診断科
- 121 待機的加療にて低侵襲的に開放しえた非典型的咽後膿瘍の1例
○川野 利明, 平野 隆, 鈴木 正志
大分大学医学部 耳鼻咽喉科
- 122 生後2か月で発症した咽後膿瘍の一例
○小河原 悠哉, 橘 智靖, 松山 裕子, 阿部 郁
姫路赤十字病院 耳鼻咽喉科
- 123 画鋸による咽頭外傷から咽後膿瘍に至った一例
○伊藤 妙子, 成尾 一彦, 山下 哲範, 山中 敏彰, 細井 裕司
奈良県立医科大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科
- 124 小児眼窩骨膜下膿瘍の1症例
○中 希久子¹⁾, 岡野 光博²⁾, 山下 安彦¹⁾, 西崎 和則²⁾
1) 福山市民病院 耳鼻咽喉科
2) 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学